

金沢マラソン進捗状況

1. 企画広報関係

(1) 後援団体について

- ① テレビ・ラジオ中継・・・北陸放送（特別後援）
- ② 後援団体・・・・・・・・・・報道各社15社

(2) 広報

- ① メディア広報・・・公式 Facebook ページ開設、ホームページリニューアル
雑誌「ランナーズ」広告掲載、新聞・ラジオ等
- ② イベント関係・・・県内（金沢城リレーマラソン、カウントダウンイベント等）
県外（首都圏のPR隊によるランニング交流会を開催）
国外（マラソン・ジャパン in 台湾）
- ③ グッズ関係・・・のぼり旗、Tシャツ、ピンバッジ、自動車用ステッカー等
- ④ 印刷物関係・・・ポスター、ロゴマーク入り封筒、県外用PRチラシ作成
- ⑤ その他・・・地元説明会の開催（出前講座）

2. 事業運営関係

(1) 協力表明団体について

金沢市町会連合会、金沢市公民館連合会、金沢市校下婦人会連絡協議会、
全国健称マラソン会石川支部、能登和倉万葉の里マラソン大会組織委員会、
学校法人金沢学院大学、ボーイスカウト金沢地区協議会、ガールスカウト金沢地区協議会、
金沢市体育協会

(2) ボランティアについて

- ① ボランティアセンターの開設 (H26. 4. 18)
団体、個人ボランティア募集開始
- ② 登録状況について (H26. 7. 17 現在)
団体登録数 26 団体 (1, 445 人)
個人登録数 61 人 **合計1, 506人**

(3) 応援イベントについて

- ・ 応援ステージ・・・公募により出演団体を決定 (2カ所)
- ・ 応援スポット・・・町会・公民館・婦人会等の団体により企画運営 (13カ所)

3. 交通対策関係

(1) 交通規制について

プレ大会において、市中心部を同コースに設定。コースの全車線規制に加え、コース周辺
における交通規制の実施や迂回路の設定など本大会を見据えた交通規制を試行

4. 競技運営関係

(1) コースの公認申請について

日本陸上競技連盟・国際陸上競技連盟等の公認を得ることで、公式タイムとして記録認定されるほか、大会のステータスが高まり国内外から多くのランナーの参加が見込める

公認スケジュール…2014年8月24日 コース検定
11月下旬 コース公認(予定) ※5年間

(2) 医療救護について

医師会や消防等と連携し、明確な指揮命令系統と万全な救急救命体制を確立

① 医療救護体制

救護本部を設置し、救護所(全15カ所)及びAED隊、メディカルランナーを管理、調整を行う

② ワーキング立ち上げ

メンバー…金沢市医師会、金沢大学、金沢学院大学、金沢市立病院

金沢市消防局、石川陸上競技協会、金沢市陸上競技協会

ア. 救護本部…救護情報を集約、適宜必要な判断・指示を実施

イ. 救護所…救護活動拠点 全15箇所(スタート1、フィニッシュ2、コース12)

ウ. AED隊…傷病者の早期発見・対応を目的

移動AED隊(自転車にて巡回)、固定AED隊(所定箇所に所持)

エ. メディカルランナー…コースを走りながら救護対応

③ 救命処置啓発施策

講習会の開催…ボランティア等を対象に救命処置への意識向上

(3) 選手ケアについて

疲労回復、怪我の予防、コンディショニングのため、テーピングやマッサージ等を実施

① ワーキング立ち上げ

メンバー…石川県スポーツトレーナー連絡協議会、(公社)石川柔道整復師会、

学校法人木島学園北信越柔整専門学校

② 実施体制

ア. 実施団体…ワーキングメンバー3団体による自主運営

イ. 会場…フィニッシュ会場(石川県産業展示館2号館)

5. 今後の活動内容について

(1) 実施マニュアルの策定(27年3月)

関係機関との調整を行い、スタッフの配置や業務内容等の詳細を定める実施マニュアルを策定

(2) 参加ランナー募集(27年3月)に向けた広報活動

① メディア広報…ガイドブック出版

② イベント関係…県内(石川県内の観光地、温泉等への誘客ツアーの企画等)

県外(首都圏等での開催PR、県外のマラソン大会へのPRブース出店等)

国外(姉妹都市訪問)

(3) 協賛

国内大手企業のほか、多くの地元企業から賛同を得て、地域で大会を支える仕組みを構築